

✿給食室から✿

できていますか？衛生的な手洗い

- 1 流水で洗う
- 2 洗剤を手取る（りょうてを洗うのに十分な量の洗剤を取りましょう）
- 3 手のひら、指の腹面を洗う
- 4 手の甲、指の背を洗う
- 5 指の間（側面）、股（付け根）を洗う
- 6 親指と親指の付け根のふくらんだ部分を洗う
- 7 指先を洗う
- 8 手首を洗う（内側 側面 外側）
- 9 洗剤を十分な流水でよく洗い流す
- 10 手をふき乾燥させる
- 11 アルコールによる消毒



* コロナ禍で今まで以上に気をつけるようになった手洗い。きちんと洗えていますか？
冬の冷たい水で洗うのは少し億劫ですが
身体を守るためにもゴシゴシ洗いましょう

2度洗いが効果的です。

2～9までの手順を繰り返す2度洗いで
菌や、ウイルスを洗い流しましょう。

✿保育園で人気の絵本✿ 一子どもたちに絵本を 絵本は心の栄養になりますー

5才の絵本 『じごくのそうべい』

著者：田島征彦

「とざい、とうざい。かるわざしのそうべえ、一世一代のかるわざでござあい。」綱わたり最中に、綱から落ちてしまった軽業師のそうべえ。気がつくと、そこは地獄。そうべえは衣をはぎとられ、さんずの川をわたり、鏡の前でえんま大王に地獄行きを命じられます。しかし途中で出会った山伏ふっかい、歯ぬき師しかい、医者ちくあん、4人そろって地獄のなかを大暴れ。ふんによう地獄や、針の山、熱湯の釜になげこまれ、人を食べる人吞鬼にのみこまれます。そうべえたちははたして生き返ることができるのでしょうか、、、。

桂米朝の高座で名高い上方落語の「地獄八景亡者戯」（じごくばっけいもうじゃのたわむれ）を題材に、関西弁を駆使して描く、スケールの大きな落語絵本です。第一回絵本にっぽん賞受賞した、ユーモラスなストーリーが子どもたちに大人気のロングセラー絵本です。



* 育児で大切なこと * 5歳児『就学に向かう時期』

5歳児は就学に向かう大切な時期ですが、それは決して「就学のための」「就学準備の」時期ということではありません。幼児期に必要な活動を経験し、自信をつけて新しい児童期・小学校教育へと羽ばたいていくための時期です。

就学を目の前にすると、大人はどうしても、じっと座ってられるか、静かに先生の話が聞けるか、文字が書けずか、などといった具体的で目に見えることが気になってきます。しかし、強制的に「学校的な」練習をさせても、必要な力は急には育ちません。

就学を見通して5歳児の時期に必要なことは、生活習慣を確立し、主体性を身につけさせること、学習に向かう基本的な力を育てること、自己コントロールの力を育成すること、そしてそれらを土台に「集団の中での自分として行動できる力」を育てることなどがあげられます。一緒に生活し、問題を解決したり、集団的な活動に取り組む中で一人ひとりに育っていきます。この経験が、新しい小学校での集団において、新しい小学校での集団において、新しい友だちと関わったり、一緒に遊んだり、考えたりするための基礎となっていきます。